

学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜勉強すること＞

◆98 ページ「夏の暮らし」を学習します。夏に関する言葉を集め、お話や文しょうの中で使ってみましょう。

- ①「はなび」という詩を読みましょう。
- ②想像したこと、思ったことをノートや取組シートに書きましょう。
- ③98 ページの例を参考に、身の回りで見つけた夏を感じたものについて、ノートや取組シートに書きましょう。

◆100 ページ「はじめて知ったことを知らせよう」を学習します。

- ①105 ページ「鳥になったきょうりゅうの話」を読みます。はじめて知ったことやおどろいたことは何かを考えながら読みましょう。
- ②書き方の例を参考に、「鳥になったきょうりゅうの話」で知ったことやおどろいたことを、ノートや取組シートに書きましょう。

わたしは、きょうりゅうが今でもすがたをかえて生きていることにとてもおどろきました。この話には、鳥ときょうりゅうのほねや足のつき方など体のつくりがとてもよくにていることが書いてあります。わたしは、鳥がきょうりゅうのしそんだということをはじめてしりました。こんなにも身近な所にきょうりゅうがいることにとてもおどろきました。

今回、このお話をよんでみて、ほかのきょうりゅうのお話も読んでみようと思いました。

書き方の例

◆115、117 ページで学習する新出漢字（両～員まで）をノートに練習します。

例：①156 ページを見て、書き順を指で書いてみましょう。

- ②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。
- ③漢字をノートに書きましょう。
- ④出てきた漢字を使って、文を作りましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします

- ・「夏の暮らし」の①では、音読を聞いてあげてください。③の「夏らしさ」を書く学習では、夏の暑さを乗り切るための工夫や夏らしい食べ物などについて話題にするなどしてあげてください。

【社会】



＜勉強すること＞「スーパーマーケットの売り場」
「スーパーマーケットではたらく人」

◆スーパーマーケットの売り場やスーパーマーケットではたらく人について、教科書^{きょう か しょ}76～79 ページや地図帳^{ち ず ちやう}、学校で使っているしりょうなどをさんこうに、ノートやとりくみシートにまとめましょう。

(1) おそうざい売り場のことについて調べました。下の（ ）に正しいものには○、まちがっているものには×を書こう。

（ ） いろいろなしゅるいがあり、お客さんがえらんで買える。

（ ） 開店^{かいてん}に合わせて、まとめてたくさんつくる。

（ ） 1日に何回かに分けてつくる。

(2) やさいやくだものは、1こだけではなく、半分や4分の1サイズなどいろいろな大きさに切ったものも売っています。それはどうしてかな。理由^{りゆう}を書いてみよう。

(3) スーパーマーケットではたらく人は、どのようなことをしているのかな。（ ）に入ることばを入れよう。

- ・ 売りに足りなくなったものがあたらきかいで（ ）したり、（ ）から品物^{しな もの}を持ってきてなべたりします。
- ・ よく売れるものや、ちらしでしようかいしたものは、お客さんの（ ）場所^{ばしょ}におくようにします。
- ・ スーパーマーケットでは、買う人の（ ）をかなえて、お客さんに来てもらうためのくふうをしています。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

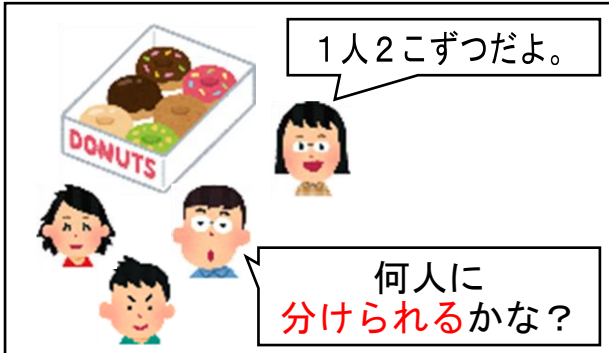
・例えば、「キャベツがいろいろな売り方をしているけど、どんなよさがあるのかな。」「半玉はどんな人が買うのかな。」などと子どもに質問して、スーパーマーケットの様々な販売の工夫が買い手にとってどのようなよさがあるのかを考えることを促すことで、消費者のニーズに応えるという販売の工夫について理解することができます。

【算数】

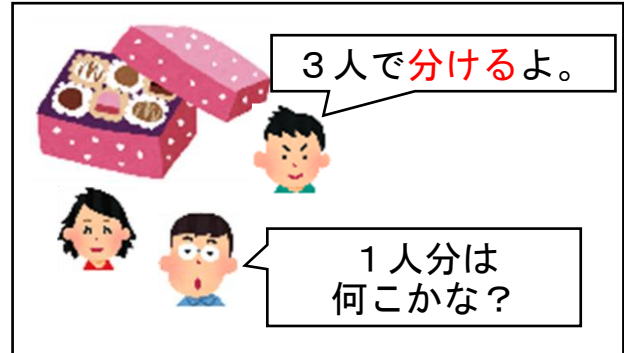
＜勉強すること＞◆「わり算①」⑦（教科書51～53ページ）

さあ、今回から「わり算」の学しゅうだよ。
まずは、「わり算」というのはどんな計算なのかを考えよう。

ばめん㊟



ばめん㊠



2つのばめんをくらべて、気がついたことを書こう。

※同じところやちがうところに目をむけて考えてみよう。



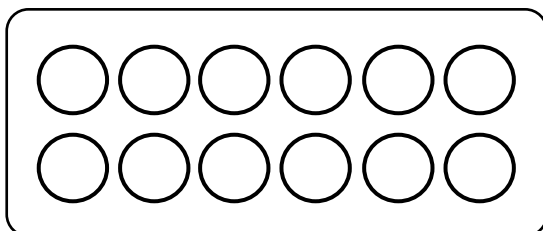
あれ？ どちらも分けるばめんだけど、どんなちがいがあるのかな？

いくつかのmondaiを通して、「分け方」のちがいを考えていこう。

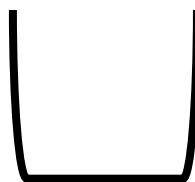
＜かだい＞クッキーが12こあります。
1ふくろに4こずつ入れると、
何ふくろに分けられるでしょうか。



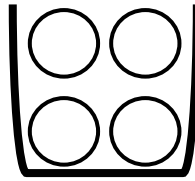
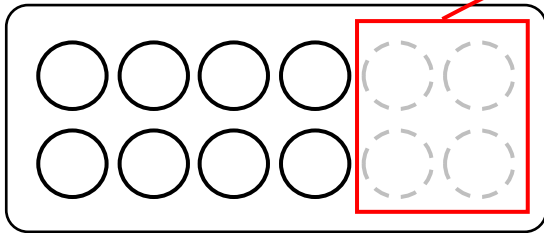
何袋に分けられるか、図をかいてせつ明しよう。



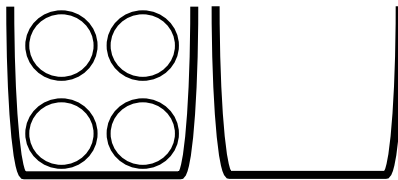
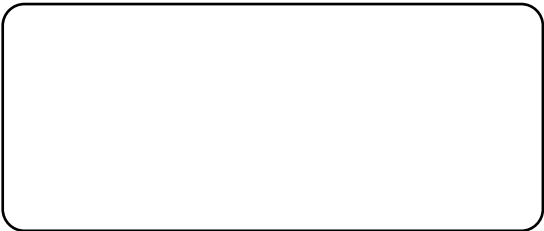
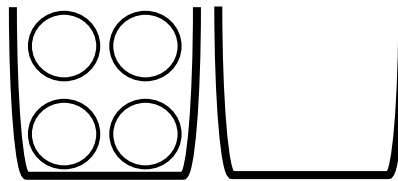
クッキー



ふくろ



つづきは自分でかいてみよう。



答え 4 こずつ ふくろに分けられる。

いくつ分をもとめる式

12こを こずつ分けると、 つに分けられます。
このことを、式で次のように書きます。

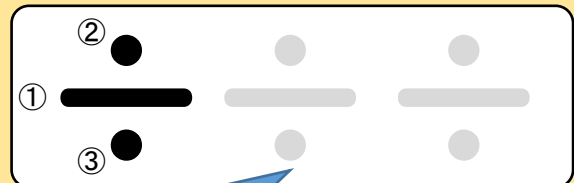
$$12 \div 4 = 3$$

全部の数

1つ分の数

いくつ分

「12わる4は3」



正しい書きじゅんでなぞろう。

こういう計算を「わり算」といいます。

学しゅうして見つけたことや分かったこと、もっと考えたいことなどを書こう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆わり算（教科書 P51～53）

子どもが初めて「わり算」にふれる場面です。図をかく所でお子様が困っている場合は、おはじき等を用いて「分ける」操作を具体的に捉えさせてあげると有効です。

【理科】

＜勉強すること＞

◆「太陽とかげを調べよう」（教科書 84～85 ページ）を見て、太陽とかげについて考えましょう。

①教科書 84～85 ページの写真を見たり、自分でかげをつくったりして、かげについて気づいたことやぎもんに思ったことを取組シートやノートに書きましょう。

※どのような天気有的时候に、かげができるかな。

※どのようにすると、かげとかげがつながるかな。

※どのような向きに立てば、かげとかげをつなぐことができるかな。

②かげはどんなところにできるのでしょうか。太陽の向きとかげの向きとのかんけいを調べるために、かんさつ 1（教科書 87 ページ）に取り組めます。よそうをして取組シートやノートに書きましょう。

※外であそんだり、夕日を見たりしたとき、かげはどのようなになっていたかな。

③自分でかんさつをしたり、教科書 87 ページの写真を見たりして、太陽の向きとかげの向きのかんけいについて気づいたことを取組シートやノートに書きましょう。

【家でできるかんさつ】

・まどから外をながめたり、昼間、まどの近くにできるかげを見たりして、太陽の向きとかげの向きを、それぞれ指でさしてみよう。

・いくつかのもののかげの向きをくらべて、どんなことが言えるか考えよう。

※太陽とかげはどのような向きになっているかな。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・この学習では、影は日光を遮る物があると太陽の反対側にできることに気付くことを大切にしています。

・「この影は何のかげかな。」「この影の向きと太陽の向きはどのようなになっているかな。」などと、日光を遮る物や影と太陽の向きの関係に気付けるように声をかけてください。

【音楽】パソコンなどで見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

＜勉強すること＞

◆リコーダーのえんそうのしかたをおぼえて、音を出してみましょう
（教科書 20～23 ページ）

- (1) 教科書 20 ページの「ささえ方」を見て、リコーダーを持ってみましょう。

※「ささえ方」は、^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。



- (2) 教科書 21 ページ「音あなのとじ方」を見て、リコーダーの音あなを指で閉じたり、開けたりしてみましょう。

※「音あなの閉じ方」は、^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。



- (3) 教科書 22 ページ「タンギング」を読んで、実際に息を出したり、止めたりしましょう。

※「タンギング」は、^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。



- (4) 教科書 22 ページ「息づかい」を読んで、やさしく息を出したり、実際にリコーダーをふいたりしてみましょう。

※「息づかい」は、^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。



- (5) 教科書 23 ページの「シ」の押さえ方をたしかめて、『練習 1』から『練習 4』までをきいたり、えんそうしたりしましょう。



＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・御家庭でリコーダーを演奏する際は、大きな音が出ます。演奏する時間帯等について、お子さんと話し合って約束等を決めておくなど、必要に応じて御確認をお願いします。
- ・楽器の扱い方については、教科書 21 ページの「楽器を大切にしよう」を参考にしてください。
- ・リコーダーの学習の最初の一步です。これから、リコーダーの演奏に興味をもてるように、うまくいったことをぜひ褒めてあげてください。

【図画工作】

^{べんきょう}
＜勉強すること＞

◆ふき上がる風にのせて（教科書３・４年上 20～21 ページ）^{きょうかしよ}

ふくろに空気を入れて遊んでみよう。うき上がったり落ちてきたりする様子から、思いついた形をつくろう。

- (1) ポリぶくろに空気を入れてあそんでみよう。どんな動き方をするかな。うちわなどであおいだり、糸をつけて動かしたりしてもいいですね。
- (2) 思いついた形をあらわしてみよう。ふわふわうかんだり、とんだりするものには、どんなものがあるかな。セロテープでとめたり、むすんだり、ふくろをつなげたりして形をかえよう。
- (3) かざりつけをしてみよう。テープをつけたり、ペンでかいたりしてもいいですね。
- (4) ふくろをうかばせて、あそぼう。どんな動きをするかな。お家の人にも見てもらおう。

※まわりによく気をつけて活動しましょう。

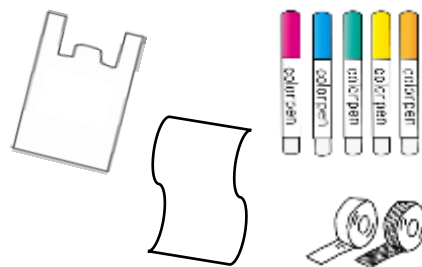
※もっとふくろをつかってあらわしたいときは、「カラフルフレンド」（教科書３・４年上 p10～）にちょうせんしよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、袋を風に乗せる動きから、想像をふくらませて自由な表現を楽しむことを大切にしています。
- ・ポリ袋、セロテープの他に、輪ゴム、テープ、ペン（油性か耐水性）、うちわや送風機などがあると楽しく活動できます。ふくろも色々な大きさのものがあるとさらに活動の幅が広がります。
- ・袋を空中にうかべるときに、夢中になって周りの物に目が向かなくなることも考えられます。活動する場所にご配慮ください。

参考

※教科書３・４年上 p 10～11 ページの「カラフルフレンド」も袋を使った表現活動になります。さらに袋を使った表現活動をしてみたい場合は、参考にしてください。



けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。

＜学習内容＞

※参考動画

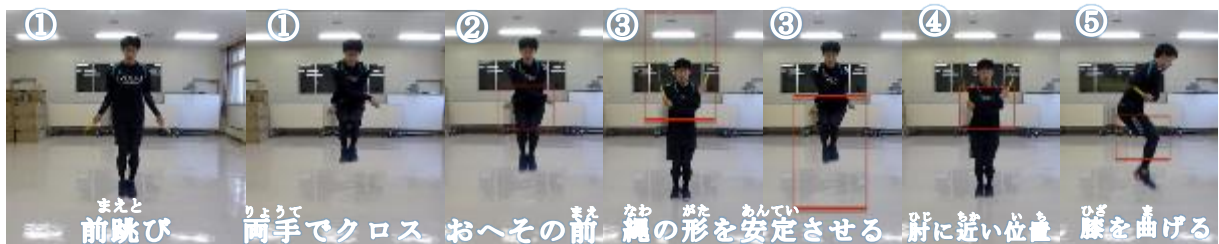
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわ跳び」に取り組みましょう。

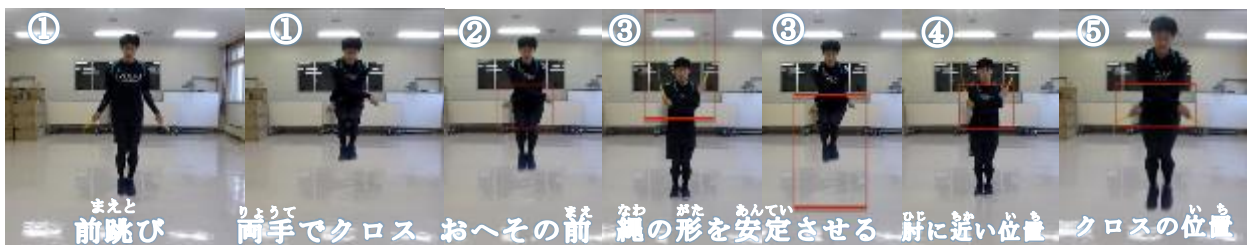
あや跳びや交差跳びに挑戦しましょう。一つ一つのステップをクリアすることで、あや跳びや交差跳びができるようになりますよ。

○あや跳びの跳び方



①あやとびは、前跳びを1回跳んだ後に両手でなわをクロスして跳び、これを繰り返す跳び方です。コツは、②なわをおへその前でクロスさせます。③回転しているなわの形が安定すると上手に跳べます。④手首ではなく、肘に近い位置でクロスをつくとなわの形が安定します。⑤膝を曲げて跳ぶとなわに引っかかりにくくなるので、試してみてください。

○交差跳びの跳び方



①交差とびは、前跳びを何回か跳んだ後に両手なわをクロスして跳び続ける跳び方です。交差跳びのコツは、あや跳びのコツと似ていて、②なわをおへその前でクロスさせます。③回転しているなわの形が安定すると上手に跳べます。④手首ではなく、肘に近い位置でクロスをつくり、しっかりと手首を回します。⑤クロスが位置が高くないように気を付けます。

◆連続何回跳べたかや30秒で何回跳べたかを数えてみよう。

繰り返し取り組むと上手になってくるので、たくさんチャレンジしてみてください。動画では、あや跳びと交差跳びの発展技を紹介しています。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・跳んだ回数を数えてあげたり、頑張りを認める声かけをしたりしてください。